

住民、医療機関、行政対話をシンポジウムで方策を探る



伊藤達朗千厩病院院長が対話の重要性を語った基調講演

一関保健所が主催する地域医療を守るためのシンポジウムは1月27日、川崎公民館で催されました。市内をはじめ両磐地域の住民や医療関係者ら約350人が参加。崩壊の危機にある両磐地域の地域医療をどうしていけばいいか、基調講演やパネルディスカッションで、病院、住民、行政が行うべきことを探りました。

「を」をテーマに基調講演。伊藤病院院長は高齢化が進む東磐井の現状を示しながら医療の役割が病気の治療から病気の管理、健康維持、身体機能回復に変化していると指摘。情報公開の足りなかつた医療機関、医療に対し過大な期待を持っている住民それぞれが「対話が欠如していた」とし、「互いに対話を進めて同じ方向を目指すことが重要と述べ、皆さんと一緒に地域医療をつくっていきましょう」と参加

者に呼び掛けました。パネルディスカッションでは、鮎名勉・県立磐井病院院長、藤野宣子・千厩病院福祉ボランティアの会長、長澤茂・一関市医師会会長、沼倉憲二・藤沢町副市長の4人がそれぞれの立場から地域医療の現状や取り組みを紹介し、これから何をすべきか提言しました。

鮎名病院院長は磐井病院の使命は入院疾患の治療と二次救急とした上で、過酷な勤務医の実情を説明。「かかりつけ医を持ち必要に応じて広域基幹病院を紹介してもらおうことで軽症患者受診が減り、医師の負担も軽減する」と呼び掛けました。

菅原さんは1月21日、市役所本庁を訪れ勝部市長に受賞を報告。勝部市長は「長年努められている指導者がいることは、地域にとって良いこと。おめでとうございます」と祝福しました。菅原さんは、40年以上にわたる市内の小中高校生を中心にパネラーを指導。今回の受賞については「恩返しで始めた指導者の道。ご褒美だと思っております。もう少し頑張りたい」と語りました。

無事故無違反で緑十字銀章

石川富男さん(76)は40年以上無事故無違反の自動車運転模範などの功績により警察

庁長官(勅全日本交通安全協会)長表彰を受賞、交通安全賞「緑十字銀章」に輝き1月21日、勝部市長に受賞を報告。「両陛下ご臨席された中で表彰を受け、感激した」と感想を述べていました。石川さんは、昭和32年に自動車運転免許を取得後、一関地区交通安全協会分會を設立し58年から分會長。また、61年から一関市交通指導員として活躍し、現在は市交通指導員一関地域隊隊長を務めています。

「暮らしの便利帳」6月発行

市民生活ガイドに代わり新たに全世帯に配付する「暮らしの



6月に全世帯配布を予定している「暮らしの便利帳」イメージ(右)。A4版カラー160ページ前後で、行政情報や地域情報が掲載されます。

便利帳」の編集が、本年6月の発行に向けて、現在盛んに行われています。

「暮らしの便利帳」の発行は、官民協同の取り組みとして行うもので、昨年4月に㈱サイネックス(本社 大阪市、村田吉優代表取締役社長)と共同発行協定を締結。諸般の事情により編集作業を中断していましたが、このほど勝部市長と村田社長が会談、発行時期などを話し合い本格的に動き出したものです。

100歳おめでとうございます



浅利キヨさん(真栄) 1月23日



小野寺ハシメさん(川崎) 1月28日



瀧澤喜輔さん(青葉) 1月28日

▶入所先の関生園で親族や施設関係者が長寿を祝いました。教師を務めた後、農業に従事。大正琴が趣味だったそうです。

▶親戚近所など大勢に囲まれ自宅で迎えた誕生日。「デイサービスでのお風呂とおしゃべりが楽しみ」と語りました。

▶妻まさ子さん(88)と週3回通うデイサービスが楽しみの喜輔さん。多くの人から祝福を受け、感極まっています。

産直 行こうよ! Vol.3 ふれあい室根旬菜館 (室根町)

豊富な品ぞろえが自慢 「かぶらムース」新発売



国道284号沿い、矢越駅の西約300mに位置するふれあい室根旬菜館。野菜、豆類、雑穀、加工品、果物、手工芸品などがエリアを分けて陳列された明るい店内には観光案内やイベント日程が掲示された情報発信コーナー、ソフトクリームやコーヒーを座って楽しめるコーナーもあり、くつろぎながら買い物ができるようになっています。

●切り花、青物など冬場もカラフルな売り場

もともと切り花栽培が盛んだった室根だけに、冬場もトルコギキョウなど切り花が豊富。ホウレンソウなど青物野菜は常時あるほか、春先には野菜苗が人気で生産が追いつかないほど。彼岸や盆には遠くから切り花を求める客でにぎわいます。

町内の矢越地区だけで栽培されている矢越が加工品を常時販売する同館。「ひこばえ食工房」による「かぶらムース」(写真)は1月に発売されたばかりで、ふんわりとした食感のムースはフルーツの酸味がアクセントの、ここだけの味です。

旬菜館は平成15年9月、室根の地産地消の拠点としてオープン。組合員数は現在104人です。



副理事長の小山功行さん(右)＝矢越＝は野菜全般のほか小菊、スターチスなど切り花を出荷。「自分で値段が決まるのがうれしい。産直全体の出荷量を増やして、お客様の満足度を上げたい」と意欲的です。鈴木みよ子さん(中央)＝矢越＝は年間60品目以上の野菜を生産。「作ったものが売れるということがうれしい」と生きがいを感じています。販売担当の三浦瑞穂さん(左)は笑顔が素敵な看板娘です。

- ◆運営…室根産地直売組合(千葉美喜子組合長 室根町矢越字高沢215-1 ☎64-3901)
- ◆営業時間…4月～10月は7:00～18:30、11月～3月は9:00～18:00
- ◆定休日…1月1・2日



次回は、「新鮮館おまち」(一関)を訪ねます。

日本体育協会表彰を受賞

バレーボール上級指導員の菅原勝雄さん(65)は山目字向野は昨年12月12日付けでスポーツ普及振興の功績により(財)日本体育協会公認スポーツ指導者表彰を受賞しました。



菅原勝雄さん

菅原さんは1月21日、市役所本庁を訪れ勝部市長に受賞を報告。勝部市長は「長年努められている指導者がいることは、地域にとって良いこと。おめでとうございます」と祝福しました。菅原さんは、40年以上にわたる市内の小中高校生を中心にバレーボールを指導。今回の受賞については「恩返しで始めた指導者の道。ご褒美だと思っております。もう少し頑張りたい」と語りました。